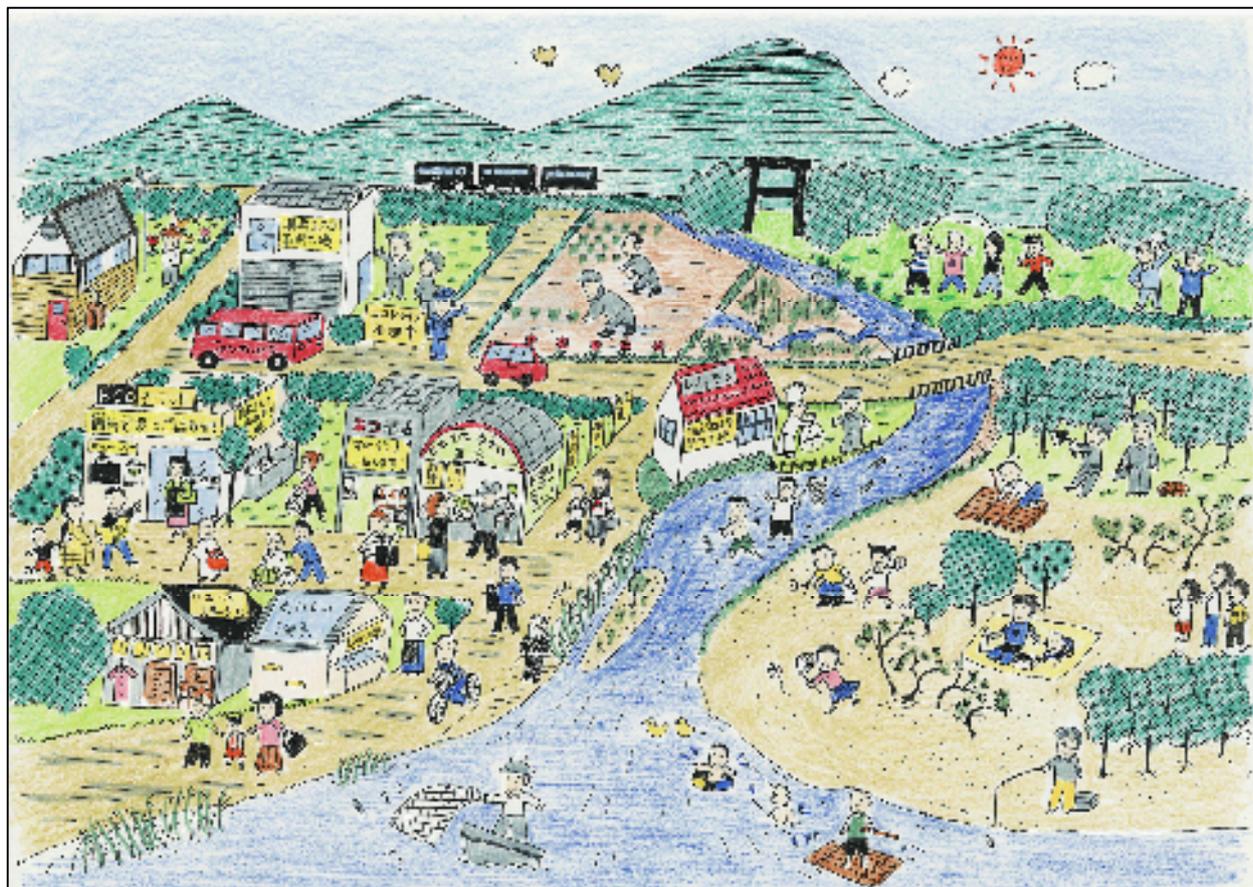


# 環境基本計画推進会議

「水と緑・安心の野洲」



平成 30 年度 通常総会 議案書



と き:平成 30 年4月 18 日(水) 10:00~  
ところ:野洲グリーンセンター 2階 研修室

# 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」 平成30年度 通常総会 次第

平成30年4月18日(水) 10:00～  
野洲クリーンセンター 2階 研修室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

- 第1号議案 平成29年度事業報告について
- 第2号議案 平成29年度収支決算報告について
- 第3号議案 平成30年度事業計画(案)について
- 第4号議案 平成30年度予算(案)について

4. 講 演

野洲市環境基本計画推進会議における10年間の取り組みの講評  
講師 立命館大学 産業社会学部 教授 永橋 爲介 様

5. そ の 他

6. 閉 会

# 第1号議案

## 平成29年度 事業報告

### <活動実績（総括）>

平成29年度より第2次野洲市環境基本計画が発効し、基本理念の「里山から琵琶湖へつながる豊かな自然環境とくらしが調和するまち やす」のもと、基本目標1「安全で快適な生活環境づくり」、基本目標2「循環型社会・低炭素社会づくり」、基本目標3「里山から琵琶湖へつながる自然環境づくり」、基本目標4「環境学習の推進による市民活動の促進」のそれぞれに位置付けられた重点プロジェクトを展開した。これまでの活動を継続しつつ、関係団体や組織との連携や活動の積極的な情報発信を通じて、プロジェクトの周知と活動の参加を呼びかけた。その結果、各種学習会や啓発イベントなど主な事業では、合計159回開催し、延べ約4,460人の市民参加を得ることができた。

基本目標1「安全で快適な生活環境づくり」における、まちなかの緑づくりプロジェクトでは、野洲川北流跡の河辺林において、定期的な竹の伐採など保全活動を継続して行った。また一般参加の自然観察会等を通じて、市街地のすぐ近くにある河辺林の豊かな生態系の保全について啓発を図ることができた。

基本目標2「循環型社会・低炭素社会づくり」における、ごみの資源化プロジェクトでは、廃食油や紙のリサイクルを啓発する環境学習講座を実施した。またリユース譲渡会を開催し資源の有効活用を図った。ごみ減量プロジェクトでは、レジ袋削減やマイバッグ携帯を呼びかける啓発活動を実施した。ほかにも分かりやすく楽しい出前講座（人形劇、エコダンス、紙芝居等）を実施し、雑がみ回収の啓発を図る講座も実施した。地球温暖化対策推進プロジェクトでは、交通分野での温室効果ガス削減を目的に実車を用いたエコドライブ教習会を実施した。

基本目標3「里山から琵琶湖へつながる自然環境づくり」における、みんなが親しみきれいな川づくりプロジェクトでは、川の再生・保全を図り、特にビワマスが遡上し生息できる場所づくりを進めた。里山を守り育てるプロジェクトでは、里山の保全活動、市民等への体験の機会づくりや啓発イベント等を実施した。びわ湖を守ろうプロジェクトでは、あやめ浜まつりやヨシ植えといった体験イベント等を通じて、市民にびわ湖の価値と環境保全の重要性を啓発した。

基本目標4「環境学習の推進による市民活動の促進」における、みんな環境学習プロジェクトでは、各プロジェクトでの講座や環境学習が実施されたことにより進められた。環境活動支援プロジェクトでは、各プロジェクトの支援や把握、調整を事務局が行い、ニュースレターの発行等を通じて各種情報を発信した。

### 運営委員会の開催

- 第1回（平成29年4月） 総会の内容について 等
- 第2回（平成29年6月） 平成29年度事業計画・予算について 等
- 第3回（平成29年8月） えこっち・やす活動PRについて 等
- 第4回（平成29年11月） 来年度事業計画、活動実績パネルについて 等
- 第5回（平成29年12月） 予算執行状況、総会までのスケジュール 等
- 第6回（平成30年2月） 予算執行状況、事業経過、総会までのスケジュール等

## 平成 29 年度 プロジェクト活動の実績

自然に関すること

※人数は延数で概算含む

	概 要	回数	人数	プロジェクト名
川	家棟川エコ遊覧※砂浜学習会含む	20	234	みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト
	ホテルの住める川づくり	8	15	
	ビワマスフォーラム	1	91	
	家棟川・びわ湖清掃活動	9	58	
	家棟川流域生態調査	3	43	
	小計	41	441	
里山	里山保全活動	35	407	里山を守り育てるプロジェクト
	子どもや市民が里山に親しむ活動	5	747	
	「森づくり塾」	1	13	
	野洲の山を知る探索	8	82	
	小計	49	1,249	
びわ湖	びわ湖に親しむイベント(あやめ浜まつり)	1	102	びわ湖を守ろうプロジェクト
	漁民の森づくり事業	1	231	
	びわ湖学習会・ヨシ苗ポットづくり体験	3	378	
	ヨシ群落再生事業(ヨシ植え)	2	747	
	小計	7	1,458	
緑	河辺林保全活動	39	526	まちなかの緑づくりプロジェクト
	野洲川北流跡自然の森カブトムシ幼虫観察会	2	204	
	野洲川北流跡自然の森昆虫観察会(山部会と共催)	1	29	
	野洲川北流跡自然の森タケノコ堀イベント	1	54	
	野洲川北流跡自然の森秋の自然観察会	1	36	
	樹木の管理と剪定講習会	1	9	
小計	45	858		
自然に関すること 小 計		142	4,006	

ごみ・資源に関すること

	概 要	回数	人数	プロジェクト名
環境学習	出前講座(リサイクルペーパーアート)	4	93	ごみの資源化プロジェクト
廃食油再利用	出前講座(エコキャンドルづくり)	2	67	
	先進事例研修	1	6	
リユース	リユース物品無償譲渡会	1	38	
ごみ・資源に関すること 小 計		8	204	

まち・くらしに関すること

※人数は延数で概算含む

	概 要	回数	人数	プロジェクト名
ごみ減量	出前講座(人形劇・紙芝居・雑がみ啓発・分別クイズ)	6	223	ごみ減量プロジェクト
	マイバック持参、レジ袋削減啓発キャンペーン	1	12	
	食品ロスに関する講演会	1	10	
	小計	8	245	
エコドライブ	エコドライブ教習会	1	6	地球温暖化対策推進プロジェクト
まち・くらしに関すること 小 計		9	251	

合 計	159	4,461	概算含む
-----	-----	-------	------

※参考

平成19年度	32 回	1,445 人	平成23年度	124 回	4,015 人	平成27年度	188 回	6,241 人
平成20年度	66 回	1,901 人	平成24年度	149 回	4,890 人	平成28年度	193 回	4,287 人
平成21年度	111 回	3,888 人	平成25年度	206 回	5,614 人			
平成22年度	95 回	3,692 人	平成26年度	209 回	5,786 人			

## まちなかの緑づくりプロジェクト

実施主体：緑の推進委員会  
やす緑のひろば

### ① 河辺林の保全活動（39回実施 延べ526人参加）

野洲川河辺林（野洲川北流跡自然の森）において、毎月第1火曜日、第3土曜日および第4木曜日の定例活動、そしてイベント前の臨時活動日にて保全活動を実施。主な保全活動としては、一定のエリアで侵入竹を計画的に伐採、散策路が通行できるよう通路出入り口の整備のほか、実生ひろば・第二ひろばを中心とした実生育成のための草刈を行った。また、オムロン(株)社員や自然・山部会の方々と協働で竹伐採活動も行った。

### ② 野洲川北流跡河辺林での自然林学習イベント

#### ➢カブトムシ幼虫観察会及び森の探検

- ・北野小3年生：平成29年5月18日 98人参加
- ・北野小2年生：平成29年5月30日 106人参加

2年生は森の探検、3年生はカブトムシの幼虫観察会と森の探検にて、カナヘビなどの生き物を捕まえたり、匂いのする葉を見つけたり、桑の実を食したりと、森の自然を身近に学んだ。

#### ➢タケノコ掘りイベント（平成29年6月10日 54人参加）

小学生以下とその保護者を対象に、タケノコ採りをして焼きタケノコの試食をし、身近な河辺林の自然の恵みを体感することができた。

#### ➢自然の森昆虫観察会（平成29年6月17日 29人参加）

山部会と協働で開催し会員含め合計60人が参加した。一度に100匹近くの蝶などの昆虫を捕獲したり、テントウムシの卵を見つけたり、オオスズメバチを捕獲して近くでまじまじと観察したりして、普段気が付かない新しい発見が沢山あった。

#### ➢秋の自然観察会（平成29年11月19日 36人参加）

子どもと保護者を対象にした森の中を巡る自然観察会を開催した。森の巡回や竹細工づくりといった体験をし、また竹飯や焼き芋を味わい、楽しみながらの自然観察会となった。

### ③ 公共施設の緑化

緑の募金事業を活用し、図書館、北野小学校の公共施設敷地内にさつき苗を定植したり、樹木の養生を地域の団体と協働で行った。

### ④ 緑化のための研修

#### ➢樹木の管理と剪定講習会（平成30年3月26日 9人参加）

一般参加者等を対象に、樹木医を講師として、樹木管理の基礎と剪定講習会を実施した。その実習として、コミセンきたの敷地内の樹木を剪定整備した。

### ⑤ まちなかの緑化推進

開発行為における緑化植栽率の実際的な運用改善施策を市で実施した。

## ごみの資源化プロジェクト

実施主体：エコ資源部会

### ① 環境学習会の実施

古紙を利用し、紙漉きの要領でつくるリサイクルペーパーアートの出前講座を、以下のとおり実施した。

- 平成29年5月21日 野洲クリーンセンター 56人参加  
※やす環境フェスタにおいて来場者に参加いただいた。
- 平成29年8月22日 篠原学童保育所 11人参加  
※大型作品を作成し11月12日にコミセンしのはらで開催された「トレストレまつり」にて展示された。
- 平成29年10月18日 下町自治会館 17人参加
- 平成29年7月29日 コミセンなかさと 9人参加  
(コミセンなかさとでは参加者を募集した講座を開催した。)

### ② 廃食油の回収

市民団体エコロジーマーケットやすの会と連携し、毎月第4土曜日に回収した。なお市の回収BOXでも使用済み天ぷら油の回収を実施した。

- エコロジーマーケットやすの会 975リットル
- 野洲市回収BOX(市内13箇所) 3,610リットル  
合計 4,585リットル

### ③ エコキャンドルづくり講座の実施

使用済みてんぷら油を捨てずに有効活用することで、身近な環境のことについて考えていただくこと、楽しく学べるエコキャンドルづくりの出前講座を下記のとおり実施した。

- 平成29年10月14日 コミセンひょうず 40人参加
- 平成29年12月2日 コミセンぎおう 27人参加  
(コミセンぎおうでは参加者を募集した講座を開催した。)

### ④ 先進地への視察(平成30年3月1日)

リサイクルやリユースについて、今後の運営に活かそうと、先進的な取り組みをされている「NPO 中部リサイクル運動市民の会」を視察し、知識や情報を収集した。

### ⑤ 野洲クリーンセンターでのリユース無償譲渡会の実施

廃棄物として出された粗大ごみや不燃物の有効利用を促進するため、リユース無償譲渡会を実施した。リユース会場は野洲クリーンセンターの展示スペースを活用し、より効率的な運営方法について都度協議を重ね、物品の陳列や配置等の整備を行った。

➤ 譲渡会の実績（平成 29 年 11 月 12 日 38 人参加）

出品数	成立数	譲渡率	その他
54 点	27 点	50%	グラス、かばん等多数譲渡

## ⑥ 陶磁器リサイクルの取り組みに向けた情報収集、研究

陶磁器のリサイクルを推進している他市事例をもとに、市民活動として取り組めるよう、情報収集や研究をすすめ、運営できるように定例会議で検討を重ねた。

## ごみ減量プロジェクト

実施主体：ごみを減らそうプロジェクト

### ① 出前講座の実施

野洲市を背景にした舞台セットとオリジナルストーリーで、子どもたちにもわかりやすく学べる環境啓発人形劇の出前講座を、各自治会館やデイサービス等で実施した。また、ごみ減量・分別クイズやエコダンスもあわせて実施した。さらにやすまる広場では紙芝居の出前講座も行い、ごみを減らす啓発を行った。

実施日	会場	参加者	内容
6月4日	市民活動支援センター	やすまる広場 30人	紙芝居
7月24日	妙光寺自治会館	妙光寺なごみサロン 33人	人形劇、エコダンス、雑がみ啓発
8月24日	前田自治会館	前田ふれあいサロン 18人	人形劇、エコダンス、雑がみ啓発
10月24日	デイセンターさくら	センター利用者 33人	人形劇、エコダンス
11月16日	休・ザ・ビッグ 伊吹野洲店	買い物客へのマイバッグ持参呼びかけ	マイバッグ持参・啓発
12月12日	行畑自治会館	福寿会 34人	人形劇、エコダンス、雑がみ啓発
12月22日	四ツ谷自治会館	子ども会クリスマス会 75人	人形劇、エコダンス、ごみクイズ

### ② レジ袋削減・マイバッグ持参推進キャンペーンの実施

レジ袋削減・マイバッグ持参推進キャンペーンでは、滋賀県や市と連携し、スーパー店頭でマイバッグ持参や食品ロス削減の呼びかけを行った（平成 29 年 11 月 16 日）。

またキャンペーンに先立ち、啓発ポスターを作成し、市内小売業者と各自治会、コミュニティセンター等に掲示を依頼した。

### ③ 雑がみ啓発ポスターの作成・掲示

市内小学生4年生を対象に、雑がみ回収や資源化をテーマとした出前講座を実施した。特に祇王小学校では児童に啓発ポスターを作成してもらい、コミセンぎおうにて掲示し、雑がみ回収の啓発を図った。

➤平成29年9月19日 中主小学校4年生 112人参加

➤平成29年9月20日 篠原小学校4年生 21人参加

➤平成29年10月25日 祇王小学校4年生 90人参加

### ④ 食品ロス削減に関する学習会（平成30年3月23日10人参加）

食品ロスの解決と生活困窮者への支援とセットで取り組まれているフードバンク滋賀の代表を講師に迎えて学習会を開催した。この学習会を通じて、今後食品ロス削減をテーマにした寸劇を制作し、啓発していく。

## 地球温暖化対策推進プロジェクト

実施主体：えこっち・やす事務局（環境課）

### ① エコドライブ教習会の開催（平成29年11月16日 6人参加）

交通分野での温室効果ガス削減を目的に、省エネ運転を実践するエコドライブの普及を図るため、実車を用いたエコドライブ教習会を実施した。教習会では、座学講習を受ける前後において、参加者それぞれが教習車を運転し、その燃費測定結果を比較したが、全ての参加者において改善が見られ、実感できる教習会となった。また教習会では、エコなお菓子やお茶を提供し、グループでエコドライブについて話し合っていたいただき、理解を深めていただいた。

## みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト

実施主体：NPO法人家棟川流域観光船、  
野洲市里川づくり委員会、  
野洲市ホタルを復活させる会  
家棟川・童子川・中ノ池川に  
ビワマスを戻すプロジェクト

- ① **家棟川エコ遊覧（4月～11月 延べ20回実施 延べ234人参加）**  
異常気象や台風などの影響を受けたが、市内自治会や老人会などと連携し、家棟川で手漕ぎの屋形舟に乗り、豊かな生態系の観察を行う一方、河川の水質や散在性ごみの状況を直接実感する学習会を開催した。
- ② **ホタルの住める川づくり（延べ8回実施 延べ15名参加）**  
例年に引き続き、ホタルの幼虫を飼育し川に放流し、ホタルが飛び交う様子の観察会を催した。これまでの活動に対して評価を受け、びわ湖放送主催の「第32回びわ湖ほのぼの大賞」を受賞することができた。
- ③ **ビワマスを戻す取り組み**  
「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト」により、家棟川を遡上するビワマスの生息環境の保全・再生を図った。具体的には産卵床の造成や魚道を設置した。遡上調査や違法採捕の監視も行ったが、密漁があり、今後の課題となった。また県内でビワマス保全に取り組む団体の活動について報告するとともに、ビワマスの専門家、全国の小さな自然再生の専門家などを交えて、滋賀県でビワマスを呼び戻す取り組みをさらに広げていくための方策について話し合うビワマスフォーラムも開催した。  
(ビワマスフォーラム：平成29年12月9日 91人参加)
- ④ **河川清掃活動（延べ9回実施 延べ58名参加）**  
市民団体や地域、企業などとも連携し、家棟川を中心に、あやめ浜、新川、童子川、中ノ池川などで清掃活動を実施した。生活ごみが多く流れてきているのが現状であるが、根気強く継続してゴミの回収を行った。
- ⑤ **生態回廊の再生（延べ3回実施 延べ43名参加）**  
琵琶湖環境科学研究センターの協力のもと、家棟川流域8ヶ所で生態調査を実施した。また、上記③のとおり、遡上しているビワマスの生息環境を保全するため、企業や団体等と連携し外来魚の駆除も行った。

## ⑥ 活動の評価

NPO法人家棟川流域観光船が、これまでの河川清掃活動、水環境保全意識醸成を目的としたエコ遊覧の運航、生態回廊再生を目的とした生態調査、ピワマスに戻す取組等により、河川環境保全に貢献したと認められ、環境大臣表彰である平成 29 年度地域環境保全功労者表彰を受賞。また上記③のピワマスに戻すプロジェクトは、第 11 回淡海の川づくりフォーラムにて山紫水明賞（滋賀県河港・砂防協会賞）を受賞した。

## 里山を守り育てるプロジェクト

実施主体：山部会

### ① 里山・林道の保全作業（延べ 35 回実施 延べ 407 人参加）

#### ➤小堤生産森林組合のエリア

台風 21 号による倒木処理を城山と鏡山西北尾根で行ったほか、城山主郭の草刈りと曲輪の整備、登山道入口の路肩整備と谷川の整備を中心に行った。

#### ➤大篠原生産森林組合のエリア

大山側溪流の整備、旧林道の道整備、また活動事業「タムシバ山花登山」「篠原小学校の伊勢道峠越え」「森づくり塾」等のための会場整備などを行った。

### ② 子どもや市民が里山に親しむ活動（延べ 5 回実施 延べ 747 人参加）

例年実施し定着している活動で、市民や子どもたちに地元の山の現状や素晴らしさを伝え、里山の自然の大切さ、重要性について理解を深めていただいた。

主なイベントは以下のとおり。

#### ➤タムシバ山春の花登山（平成 29 年 4 月 1 日 40 人参加）

#### ➤篠原小学校「伊勢道峠越え」案内（平成 29 年 5 月 2 日 181 人参加）

#### ➤やす環境フェスタ 2017（平成 29 年 5 月 21 日約 400 人参加）

#### ➤北野幼稚園里山自然観察会（平成 29 年 11 月 15 日 78 人参加）

#### ➤錦秋の里山登山（平成 29 年 11 月 25 日 18 人参加）

#### ➤城山初日の出登山（平成 30 年 1 月 1 日約 30 人参加）

### ③ 森づくり塾の実施（平成 29 年 12 月 9 日 13 人参加）

山部会員や市民が山作業の仕方や生き物・山作業・里山の歴史について実習・学習し、里山案内人としての技量や知識を得るために実施。平成 29 年度は岩石と地質の学習会を実施した。

#### ④ 野洲の山を知る探索

毎月第4土曜日に、里山の現状や季節毎に変化する里山の面白さを知る探索を行った。また各種事業の下見も実施し、登山コース等の確認やレスキュー杭の点検を行った。

#### ⑤ 他の団体やプロジェクトとの協働活動・交流

コミュニティセンターでの収穫祭に参加し、山部会の活動をPRした。また、川のプロジェクトと協働で家棟川・びわ湖の生態調査に参加した。さらに、緑の推進委員会とも協働で昆虫観察会（平成29年6月17日）を実施した。

## びわ湖を守ろうプロジェクト

実施主体：びわ湖の水と地域の環境を守る会  
野洲市びわ湖を守る会

#### ① びわ湖環境学習とヨシ苗づくりの実施（中主小5年生対象 延べ378人）

公益財団法人淡海環境保全財団と連携し、中主小学校5年生を対象にした環境学習で、びわ湖とヨシについて学習会を行った。また、ヨシ苗ポットづくりも体験し、学校の中庭にある池でヨシ苗を育苗。秋には5年生自らが育てられたヨシ苗を湖岸へ移植した。

- 1回目：びわ湖環境学習会（平成29年6月29日 126人参加）
- 2回目：ヨシ苗ポットづくり、育苗（平成29年7月6日 126人参加）
- 3回目：ヨシ植栽（平成29年11月30日 126人参加）

#### ② ヨシ群落再生事業の実施（延べ2回実施 延べ747人参加）

- 滋賀ダイハツ販売(株)による植栽（平成29年11月3日 約430人）
- ヨシ植栽イベント（平成29年11月11日 268人）

ヨシ群落を再生しようと、企業によるヨシ植栽の他、各種団体や事業所等と連携し、ヨシの植栽を行う市民参加型イベントも開催した。またイベントでは、湖岸の景観を保全するため、松林の保全（下草刈作業）も行った。

#### ③ 砂浜学習会の開催（平成29年5月27日 30人参加）

船に乗って川の話や環境の話を聞き、また刺網により取れた魚の生態調査を行った。その後、あやめ浜へ移動し、湖魚料理を食べながら、びわ湖の今と昔についての話を聞き学ぶ機会を提供した。

**④ あやめ浜まつりの開催（平成 29 年 8 月 21 日 102 人参加）**

あやめ浜でのシジミ採り体験、湖魚料理による食文化体験など、びわ湖に親しみながら、びわ湖について学ぶことで、水環境の保全意識の高揚を図る啓発イベントとなった。

**⑤ 漁民の森づくり事業の実施（平成 30 年 3 月 10 日 231 人参加）**

びわ湖の水の源を守るために、漁業関係者や生産森林組合と協力し、団体・企業などの参加のもと、水源となる山（大篠原地先）の植樹整備を実施した。活動終了時には、ブラックバスのフライや地元野菜を使ったカレーを提供し好評を得た。

**⑥ 湖岸周辺の清掃活動（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）**

あやめ浜や周辺の清掃を年間通じて実施したところ、台風の影響を強く受け、多量の散在性ごみや漂着ごみを回収した。野洲市びわ湖を守る会として、野洲クリーンセンターへ搬入したごみの総量は、可燃 890k g、不燃 140k g、粗大 60k gであった。

## みんなで環境学習プロジェクト

実施主体：環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」  
(事務局：環境課)

### ① 学びの場の提供

野洲クリーンセンターを拠点とし、やす環境フェスタ 2017 では啓発パネルの展示や、エコキャンドルづくりや木工づくり体験を行い、参加者と楽しく学べる講座を行うことができた。

### ② 出前講座や環境学習の実施

各プロジェクトでの、それぞれのテーマに沿った出前講座を実施し、子どもから大人まで幅広い市民を対象とし、環境学習をすすめた。

なお、当該プロジェクトは、各プロジェクトでの出前講座や自然観察会など環境学習の取り組みにより連動する。

### ③ 広報やす・インターネット等による情報発信

インターネットによる情報発信や、各種環境学習の周知広報を図った。また必要に応じて小学校や自治会へ周知案内を行った。

## 環境活動支援プロジェクト

実施主体：環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」  
(事務局：環境課)

### ① ニュースレターの発行

各プロジェクトの活動概要をニュースレターとして、会員はもちろん、自治会回覧や環境保全協定締結事業所等に送付し、周知を図った。

### ② 広報やす・インターネットによる情報発信

インターネットによる情報発信や、各種活動の周知広報を図った。各プロジェクト活動のイベント案内を広報やすや市ホームページを通じて月1回以上周知した。

▶環境基本計画関連ホームページアップ履歴

記載時	項目・プロジェクト	内容
平成 29 年 4 月	えこっち・やす全体	総会案内、10 年間の取り組み報告
平成 29 年 5 月	えこっち・やす全体	総会結果
	びわ湖を守ろう	砂浜学習会の案内
平成 29 年 6 月	グリーン購入	グリーン購入啓発リレーの案内
	川、湖	環境大臣表彰の受賞
平成 29 年 7 月	ごみ資源化	リサイクルペーパーアート講座の案内
平成 29 年 8 月	川づくり	ビオトープ魚の観察会の案内
	びわ湖を守ろう	近畿地方整備局長表彰の受賞
平成 29 年 9 月	えこっち・やす全体	ニュースレター 30 号の発行
	緑づくり	特定外来生物「オオキンケイギク」周知啓発
平成 29 年 10 月	びわ湖を守ろう	ヨシ植えイベントの案内
	地球温暖化防止	エコドライブ教習会の案内
	ごみ資源化	リユース譲渡会の案内
	川づくり	ビオトープ水鳥観察会の案内
平成 29 年 11 月	川づくり	ビワマスフォーラム開催の案内
	ごみ資源化	エコキャンドル講座の案内
平成 29 年 12 月	川づくり	ビワマスフォーラム結果
	ごみ減量	食品ロス削減の啓発（年末年始用）
平成 30 年 1 月	ごみ減量	食品ロス削減の啓発（年始用）
	えこっち・やす全体	ニュースレター 31 号の発行
平成 30 年 2 月	地球温暖化防止	省エネ啓発
	川づくり	ビワマスプロジェクト淡海の川づくりフォーラム賞
平成 30 年 3 月	ごみ減量	食品ロス削減の啓発
	えこっち・やす全体	総会案内

③ ロゴマークによる周知

活動時にはえこっち・やすロゴマーク入りスタッフベストを着用し、また周知の際には、ロゴマークを配置して認知度を高めた。

④ 各プロジェクト支援、管理等

各プロジェクトの支援や把握、調整を行う事務局としての取り組みを行い、えこっち・やす 10 年間の活動をまとめたパネルを作製したほか、緑のカーテンを公共施設に広めた。

## 第2号議案

### 平成 29 年度 収支決算報告

(収入)

単位：円

科目	当初予算額	補正予算額	予算現額	決算額	差引き	備 考
会 費	119,000	0	119,000	100,000	△ 19,000	個人 @500        70 (内、過年度分 2 ) 市民団体 @1,000   17 (内、過年度分 0 ) 自治会 @1,000     20 (内、過年度分 0 ) 企業 @2,000       14 (内、過年度分 0 )
補 助 金	2,150,000	0	2,150,000	2,150,000	0	野洲市 (環境基本計画推進事業補助金)
繰 越 金	107,945	0	107,945	107,945	0	前年度繰越金
雑 入	55	0	55	3,950	3,895	預金利子 出前講座材料負担金等
合 計	2,377,000	0	2,377,000	2,361,895	△ 15,105	

(支出)

単位：円

科目	当初予算額	補正予算額	予算現額	決算額	差引き	備 考
事 業 費	2,150,000	0	2,150,000	2,191,690	△ 41,690	まちなかの緑づくりPJ        150,601 円 ごみの資源化PJ                98,765 円 ごみ減量PJ                      97,589 円 地球温暖化対策推進PJ        101,835 円 みんなが親しみきれいな川づくりPJ   831,518 円 里山を守り育てるPJ            180,607 円 びわ湖を守ろうPJ              548,475 円 環境活動支援PJ                182,300 円
事 務 費	150,000	0	150,000	97,803	52,197	通信運搬費、消耗品費等
予 備 費	77,000	0	77,000	0	77,000	
合 計	2,377,000	0	2,377,000	2,289,493	87,507	

#### 平成 29 年度 収支決算の結果

収入決算額                    2,361,895 円

支出決算額                    2,289,493 円

収支差引き額                 72,402 円

収支決算による差引き額    **72,402** 円は、平成 30 年度に繰越する。

平成29年度 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

会計監査報告

監査結果

平成29年度環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」の収支決算について監査を行った結果、帳簿の記載及び領収書等の関係書類はいずれも適正に処理され、決算金額は正確であったので報告します。

平成30年4月6日

監事 山岡 世以子 

平成30年4月9日

監事 河本 正信 

## 第3号議案

### 平成30年度 事業計画（案）

#### 活動方針

第2次野洲市環境基本計画に基づく基本理念「里山から琵琶湖へつながる豊かな自然環境とくらしが調和するまち やす」のもと、基本目標1「安全で快適な生活環境づくり」、基本目標2「循環型社会・低炭素社会づくり」、基本目標3「里山から琵琶湖へつながる自然環境づくり」、基本目標4「環境学習の推進による市民活動の促進」のそれぞれに位置付けられた重点プロジェクトを展開する。これまでの活動を継続しつつ、関係団体や組織との連携や活動の積極的な情報発信を通じて、プロジェクトの更なる展開と活動の成果をめざす。

基本目標1「安全で快適な生活環境づくり」における、まちなかの緑づくりプロジェクトでは、市民、事業所、市民団体の緑化活動を推進する。具体的には、野洲川北流跡の河辺林において、定期的な竹の伐採など保全活動を行う。また一般参加の自然観察会等を通じて、市街地のすぐ近くにある河辺林の豊かな生態系の保全について啓発を図る。

基本目標2「循環型社会・低炭素社会づくり」における、ごみの資源化プロジェクトでは、廃食油のリサイクルを推進するほか、各種環境学習講座を実施する。またリユース事業を展開し資源の有効活用を図る。ごみ減量プロジェクトでは、レジ袋削減やマイバッグ推進の啓発活動を実施する。ほかにも分かりやすく楽しい出前講座（人形劇、エコダンス、紙芝居等）を実施し、雑がみ回収の啓発を図る講座も実施する。さらに食品ロス削減をテーマにした寸劇を公演できるよう検討していく。地球温暖化対策推進プロジェクトでは、交通分野での温室効果ガス削減を目的に、省エネ運転を実践するエコドライブの普及を図るため、実車を用いたエコドライブ教習会を実施する。

基本目標3「里山から琵琶湖へつながる自然環境づくり」における、みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクトでは、川の再生・保全を図り、人が安心して水と触れ合える環境づくりと在来生物が生息できる場所づくりを進める。里山を守り育てるプロジェクトでは、里山の保全活動、市民等への体験の機会づくりや啓発イベント等を実施する。びわ湖を守ろうプロジェクトでは、琵琶湖を身近に感じ保全意識を高める活動を実施し、体験イベント等を通じて、市民にびわ湖の価値と環境保全の重要性を啓発する。

基本目標4「環境学習の推進による市民活動の促進」における、みんなで環境学習プロジェクトでは、各プロジェクトでの講座や環境学習が実施されることにより連動し、インターネットによる情報発信や、各種環境学習の周知広報を図る。環境活動支援プロジェクトでは、各プロジェクトの支援や把握、調整を行う事務局としての取り組みを行う。

## まちなかの緑づくりプロジェクト

実施主体：緑の推進委員会  
やす緑のひろば  
予算： 150,000円

### ① 河辺林の保全活動 **継続**

野洲川河辺林（野洲川北流跡自然の森）において、毎月第1火曜日、第3土曜日および第4木曜日の定例活動、そしてイベント前の臨時活動日にて保全活動を実施する。主な保全活動としては、一定のエリアで侵入竹を計画的に伐採、散策路が通行できるよう通路出入り口の整備のほか、実生ひろば・第二ひろばを中心とした実生育成のための草刈を行う。また河川エリアへのアクセスを容易にする通路などの整備も行い、自然の森の魅力を向上させる。

### ② 河辺林での自然林学習イベント **継続**

#### ➤ カブトムシ幼虫観察会

北野小学校3年生または2年生を対象に、野洲川北流跡自然の森にて、カブトムシの幼虫観察会を実施する。森の中を散策しての自然体験活動も行う。

#### ➤ タケノコ掘りイベント

小学生以下とその保護者を対象に、タケノコ採りをして焼きタケノコの試食をし、身近な河辺林の自然の恵みを体感する。

#### ➤ 秋の自然観察会

子どもと保護者を対象にした森の中を巡る自然観察会を開催する。森の巡回や竹細工づくり等の体験をし、また竹飯を味わい、楽しみながらの自然観察会とする。

#### ➤ 山部会との協働での自然観察会

植物の専門の先生を迎え一般の方も対象の自然観察会を山部会と協働にて行う。

### ③ 公共施設の緑化 **継続**

図書館、北野小学校等公共施設の敷地内の樹木の養生を可能な限り地域の団体と協働で行う。

### ④ 緑化のための研修・啓蒙 **継続**

樹木医を講師として、一般参加者等を対象に、樹木管理の基礎と剪定講習会を実施する。

### ⑤ 市内緑化推進のための施策検討 **継続**

市の緑化政策を勉強し、推進に有効な施策を市と協働で検討する。

## ごみの資源化プロジェクト

実施主体：エコ資源部会

予算：100,000円

### ① 環境学習会の実施 **継続**

古紙を利用し、紙漉きの要領でつくる「紙のリサイクル学習～色紙溶かして絵をつくろう～」(リサイクルペーパーアート)の出前講座を通して、雑がみ回収等周知啓発していく。

### ② 廃食油の回収 **継続**

NPO 法人碧いびわ湖と協力を得ながら市内各所で廃食油を回収し、毎月第4土曜日には市役所敷地内においても回収する。なお市による回収BOXでも廃食油を回収する。

### ③ エコキャンドルづくり講座の実施 **継続**

使用済みてんぷら油を捨てずに有効活用することで、身近な環境のことについて考えていただくこと、楽しく学べるエコキャンドルづくりの出前講座を実施する。

### ④ 先進地への視察 **継続**

リサイクルやリユース等の先進的な取り組みについて視察し、知識や情報を収集し、今後の活動に活かしていくことを図る。

### ⑤ リユース物品の譲渡 **継続**

廃棄物として出された粗大ごみや陶器類等の有効利用を促進するため、リユース無償譲渡会を実施する。また、リユース会場は野洲クリーンセンターの展示スペースを活用し、より効率的な運営方法について都度協議を重ね、物品の陳列や配置等の整備を行う。

### ⑥ 陶磁器リユースの取り組みに向けた情報収集、研究、試験実施 **継続**

市民活動として取り組み、陶磁器のリサイクルを推進している先進地の事例をもとに、情報収集や研究をすすめ、野洲市でも実施できるようにすすめていく。

## ごみ減量プロジェクト

実施主体：ごみを減らそうプロジェクト  
予算：100,000円

### ① 出前講座の実施 **継続**

野洲市を背景にした舞台セットとオリジナルストーリーで、子どもたちにもわかりやすく学べる環境啓発人形劇の出前講座を、コミセンやふれあいサロン等で実施する。また、ごみ減量・分別クイズやエコダンスもあわせて実施する。さらに学童保育所等で紙芝居の出前講座も行い、ごみを減らす啓発を行う。

### ② レジ袋削減・マイバッグ持参推進キャンペーンの実施 **継続**

レジ袋削減・マイバッグ持参推進キャンペーンでは、滋賀県や市と連携し、スーパー店頭でマイバッグ持参や食品ロス削減の呼びかけを行う。またキャンペーンに先立ち、市内小売業者と各自治会・コミュニティセンター等に啓発ポスターの掲示を依頼する。

### ③ ごみ減量等に関する学習会 **継続**

ごみを減らすために先進的な取り組みをされている自治体や事業所などへの視察研修会、学習会を開催する。

### ④ 雑がみ啓発ポスターキャンペーンの実施 **継続**

出前講座を実施した市内小学4年生を対象に、雑がみ回収や資源化をテーマとしたポスターキャンペーンを実施し、雑がみ回収の啓発を図る。

### ⑤ 食品ロス削減をテーマにした寸劇の制作 **新規**

食品ロス削減をテーマにした学習会をこれまで開催しており、そこで得られた知識や情報を生かし、寸劇を制作する。今後出前講座で公演を予定する。

## 地球温暖化対策推進プロジェクト

実施主体：えこっち・やす事務局（環境課）  
予算：100,000円

### ① エコドライブ教習会の開催 **継続**

交通分野での温室効果ガス削減を目的に、省エネ運転を実践するエコドライブの普及を図るため、実車を用いたエコドライブ教習会を実施する。

## みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト

実施主体：NPO法人家棟川流域観光船、  
野洲市里川づくり委員会、  
野洲市ホタルを復活させる会  
家棟川・童子川・中ノ池川に  
ビワマスを戻すプロジェクト  
予算：550,000円

### ① 家棟川エコ遊覧 **継続**

市内自治会や老人会などと連携し、市内の河川の多くが流入する家棟川で手漕ぎの小型舟に乗り、豊かな生態系の観察を行う一方、河川の水質や散在性ごみの状況を直接実感する学習会を開催する。

### ② ホタルの住める川づくり **継続**

例年に引き続き、ホタルの幼虫を飼育し川に放流する。ホタルが飛び交う様子の観察会を催す。

### ③ ビワマスを戻す取り組み **継続**

「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト」により、家棟川を遡上するビワマスの生息環境を保全・再生する。具体的には産卵床の造成や魚道設置の作業を行う。また近隣地域の子ども達を対象とした、ビワマス遡上観察会等のイベントを実施する。

### ④ 河川清掃活動 **継続**

市民団体や地域、企業などとも連携し、家棟川を中心に、あやめ浜、新川、童子川、中ノ池川など積極的な活動を実施する。

### ⑤ 生態回廊の再生 **継続**

琵琶湖環境科学研究センターの協力のもと、家棟川流域 8ヶ所で生態調査を実施する。また、上記③のとおり、遡上しているビワマスの生息環境を保全するため、企業や県、関係機関等と連携し産卵床の整備を行う。

## 里山を守り育てるプロジェクト

実施主体：山部会  
予算：180,000 円

### ① 里山・林道の保全作業 **継続**

毎月、第1第2土曜日、第3火曜日に山作業を行う。

- 小堤生産森林組合のエリア  
城山の主郭の草刈りと曲輪の整備、登山道・谷川の整備、路肩の補強を中心に行う。
- 大篠原生産森林組合のエリア  
大山川溪流の整備、旧林道の道整備、倒木処理、貯木場の草刈り、森学校の遊歩道の整備、子どもや市民参加の行事のための道整備などを行う。

### ② 子どもや市民が里山に親しむ活動 **継続**

市民や子どもたちに地元の山の現状や素晴らしさ、里山の歴史について知ってもらい、里山の大切さについて理解を深めてもらうためのイベントを行う。主なイベント計画は以下のとおり。

- 4月 タムシバ山春の花登山
- 5月 篠原小学校縦割り授業（全校生徒）の「伊勢道峠越え」案内
- 11月 秋の里山登山
- 1月1日 城山の初日の出登山
- 随時、里山自然観察ハイキング

### ③ 森づくり塾の実施 **継続**

山部会員や市民が山作業の仕方や生き物・山作業・里山の歴史について実習・学習し、里山案内人としての技量や知識を得るために実施する。

### ④ 野洲の山を知る探索 **継続**

毎月第4土曜日に、野洲の山の現状や季節ごとに変化する里山の面白さを知る探索を行う。同時に動植物の生息状況も把握する。  
また例年継続して、レスキュー杭の点検補修も行う。

### ⑤ 他団体や他のプロジェクト等との協働活動・交流 **継続**

コミュニティセンターでの収穫祭に参加し、山部会の活動をPRする。また、自然分野の川プロジェクトと協働で家棟川・びわ湖の生態調査に参加するほか、緑の推進委員会とも協働による森林整備を行う。さらに野洲クリーンセンターと共にクリーンセンター裏の谷のタゴガエル生息確認調査を行う。

## びわ湖を守ろうプロジェクト

実施主体：びわ湖の水と地域の環境を守る会  
野洲市びわ湖を守る会  
予算：480,000円

### ① びわ湖環境学習とヨシ苗づくりの実施 **継続**

公益財団法人淡海環境保全財団と連携し、中主小学校5年生を対象にした環境学習で、びわ湖とヨシについて学習会を行う。また、ヨシ苗ポットづくりも体験し、学校の中庭にある池でヨシ苗の育苗を行う。育てられたヨシ苗は湖岸へ移植する。

### ② ヨシ群落再生事業の実施 **継続**

ヨシ群落を再生しようと、企業によるヨシ植栽の他、各種団体や事業所等と連携し、ヨシの植栽を行う市民参加型イベントも開催する。またイベントでは、湖岸の景観を保全するため、松林の保全（下草刈作業）も行う。

### ③ 砂浜学習会の開催 **継続**

船に乗って川の話や環境の話聞き、また刺網や船上での投網で取れた魚の生態調査を行う。その後、あやめ浜へ移動し、湖魚料理を食べながら、びわ湖の今と昔についての話を聞き学ぶ。

### ④ あやめ浜まつりの開催 **継続**

あやめ浜でのシジミ採り体験、湖魚料理による食文化体験など、びわ湖に親しみながら、びわ湖について学ぶことで、水環境の保全意識の高揚を図る啓発イベントを開催する。

### ⑤ 漁民の森づくり事業の実施 **継続**

びわ湖の水源を守るために、漁業関係者や生産森林組合と協力し、団体・企業などの参加のもと、水源となる山（大篠原地先）の植樹整備を実施する。活動終了時には、ブラックバスのフライや地元野菜を使ったカレーを提供する。

## みんなで環境学習プロジェクト

実施主体：環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」  
(事務局：環境課)

### ① 出前講座や環境学習の実施 **連動**

各プロジェクトでの、それぞれのテーマに沿った講座や観察会を実施し、子どもから大人まで幅広い市民を対象とした環境学習をすすめる。各プロジェクトでの取り組みにより連動する。

### ② 広報やす・インターネット等による情報発信 **継続**

広報・インターネットによる情報発信や、各種環境学習の周知広報を図る。また必要に応じて小学校や自治会へ周知案内を行う。

## 環境活動支援プロジェクト

実施主体：環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」  
(事務局：環境課)  
予算：80,000円

### ① ニュースレターの発行 **継続**

各プロジェクトの活動概要をニュースレターとして、会員はもちろん、自治会回覧や環境保全協定締結事業所等に送付し、周知を図る。

### ② 広報やす・インターネットによる情報発信 **継続**

インターネットやドローンを活用した情報発信や、各種活動の周知広報を図る。各プロジェクト活動のイベント案内を広報やす、市ホームページを通じて月1回以上周知する。

### ③ ロゴマークによる周知 **継続**

活動時にはえこっち・やすロゴマーク入りスタッフベストを着用し、また周知の際には、ロゴマークを配置して認知度を高める。

### ④ 各プロジェクト支援、管理等 **継続**

各プロジェクトの支援や把握、調整を行う事務局として取り組む。

# 第4号議案

## 平成 30 年度 予算 (案)

(収入)

単位：円

科目	当初予算額	前年度当初予算額	差引き	備 考
会 費	114,500	119,000	△ 4,500	個人 @ 500 × 91 人 市民団体 @ 1,000 × 19 団体 自治会 @ 1,000 × 20 団体 企業 @ 2,000 × 15 社
補助金	1,740,000	2,150,000	△ 410,000	野洲市 (環境基本計画推進事業補助金)
繰越金	72,402	107,945	△ 35,543	前年度繰越金
雑 入	98	55	43	預金利子
合 計	1,927,000	2,377,000	△ 450,000	

(支出)

単位：円

科目	当初予算額	前年度当初予算額	差引き	備 考
事業費	1,740,000	2,150,000	△ 410,000	まちなかの緑づくりPJ 150,000 円 ごみの資源化PJ 100,000 円 ごみ減量PJ 100,000 円 地球温暖化対策推進PJ 100,000 円 みんなが親しみきれいな川づくりPJ 550,000 円 里山を守り育てるPJ 180,000 円 びわ湖を守ろうPJ 480,000 円 環境活動支援PJ 80,000 円
事務費	130,000	150,000	△ 20,000	通信運搬費、消耗品 等 130,000 円
予備費	57,000	77,000	△ 20,000	
合 計	1,927,000	2,377,000	△ 450,000	